

平成29年7月31日(月)

## 平成29年度1学期終業式

おはようございます。今日で1学期が終わります。延高の1学期は、1年間で一番忙しい学期です。特に1年生の皆さんにとっては、大変な日々だったことでしょう。一方で、本当に充実した学期だったとも言えることでしょう。

さて、今日は2つ話をします。一つ目の話は、私が最近読んだお薦めの本についてです。図書館に置いてある本なので、興味がある人は行ってみてください。二つ目は、学習するときに必要な二つのことについてです。

まず、本の紹介です。タイトルは「私の夢は大人になるまで生きることです」というものです。著者は、池間哲郎さん、沖縄在住のカメラマンをされている方です。また、「アジア支援機構」という団体の代表で、30年近くにわたりアジアの貧しい子供たちの支援に携わってこられました。

本のタイトルの言葉は、フィリピンのゴミ捨て場でゴミを拾って暮らす10才の女の子に「あなたの夢は何ですか」と尋ねたときの返答でした。こんなに幼くて無邪気に見える少女の口から、この言葉が出てきた衝撃に、池間さんは世界の恵まれない子どもたちをずっと支援していこうという決意を固めたそうです。

この本の中には、池間さんが出会ったアジアの貧しい子供たちがたくさん出てきます。その中のエピソードの一つだけ紹介します。ウーガンという16才のモンゴルの少女は、家が貧しく5才から働いていて、小学校4年生までしか学校に行けませんでした。しかし、池間さんの団体が支援する学校に通えるようになり、一生懸命勉強して2年間で中学校2年生までの力を身につけたそうです。池間氏は彼女の姿勢に感動して、「将来日本に留学して勉強しませんか？私たちが支援します」と聞いたそうです。そのとき、彼女は体中を振るわせて泣き叫び「夢を見てもいいのですか？」そして「私は命がけで勉強します！」と言ったそうです。

「命がけで勉強する」とは、なかなか言えることではありません。しかし、私はそういう思いで勉強している人がこの世界にいることを私たちは知っておくべきだと思って、この話を皆さんに紹介しました。

次に、意味のある学習をするときに必要なことについてお話します。二つあります。一つ目は自学するということです。何かを学習するとき、我々はまず専門家から習います。次に自分ひとりでやってみます。これを自学と言います。自学して初めて学習したものが自分のものとなります。従って、学習することにおいて自学することは不可欠です。

では、自学することにおいて最も重要な条件は何だと思えますか？それは、集中するということです。言い換えると、今取り組んでいる課題に没頭することです。没頭することで考え抜くことができます。そして、考え抜くことで自分の力を高めることができます。

一方、集中するためには孤独になる必要があります。自分の考えの中に入り込んでいるのですから、当然です。私たちは集中するために孤独に耐える必要があるのです。従って、手中するにはたくさんのエネルギーが必要となります。では、どうしたら集中できると思えますか？

矛盾しているようですが、集中する力は一緒に学習している周囲の人からもらえます。校長室の隣には自習室があります。そこで自習している人たちはお互いに集中する力をもらっていると言えます。

明日より夏期休暇に入り、自分で学習する時間が増えることと思います。高校時代だけでなく、社会人になっても自分で考え抜く力は大切です。今は、その力を身につけている過程だという認識を持って高校時代の学習に取り組んでください。

二つ目の学習することに必要なことは、「編集」ということです。編集とは雑誌の編集長などの編集です。

学習した内容を自分のものにするには、編集という作業が不可欠です。つまり、学習した内容を自分なりにまとめることです。これを編集といいます。例えば、授業で習った内容をノートに自分で考えてまとめ直す、あるいは問題を自分なりに解き直す、などの作業が編集ということになります。編集することで、皆さんの脳が学んだ内容を自分なりに編集し直します。その結果、きちんと記憶し、かつ活用できる形で蓄えられるわけです。従って、皆さんが自学しているときは、学習した内容を自分で編集していなければならないのです。そうでなければ、自学の効果はありません。

生徒の皆さん一人ひとりの、1学期の学びがしっかりと自分のものとなり、活用できる力に進化することを期待し、1学期終業の挨拶といたします。